

# 農地利用最適化の最前線

頑張る農業委員・農地利用最適化推進委員

豊岡市 農地利用最適化推進委員

## 仲川 弘之さん(62)

「借り手が耕作しやすいように利用調整したい」と話すのは、豊岡市農業委員会の農地利用最適化推進委員・仲川弘之さん(62)。

これまでに、所有者が耕作できなくなった農地10筆120㌦を近くの担い手に権利設定したほか、作業受委託でも受け手につなげている。

仲川さんは、JAの営農相談員も務めており、地域の専業農家であれば、ほぼ顔見知りだという。農家の悩み事は、雑談をす

る中で把握しており「医者に農作業を止められた」「今年で利用権の契約期間が切れるので、新しい耕作者を探している」といった話を聞くと、すぐに近隣の耕作者に声をかけている。

集約された農地を借りている耕作者がリタイアすると聞いた時には、複数の地主がそれぞれに新たな借り手を探し

「次に借りる人には、納得して借りてほしいので、前の耕作者にも農地の状況を確認しています」と話す仲川さん



また隣地の耕作者に借りてもらおうことになった時には、畦をとってもいいかを所有者と交渉するなど、耕作者の立場になって利用調整をしている。

仲川さんは「10年後、20年後に地域の農地がどうなっているかが心配。今後は、集落での用水路の管理と不在地主の増加が課題」と話す。

## 農地の利用調整にまい進